

# 第1回 獣医学術功績者選考委員会の会議概要 (学術部会個別委員会)

日 時 平成21年10月29日(木) 11:00~13:00

場 所 日本獣医師会会議室

## 出席者

【委員長】 酒井 健夫 日本獣医師会理事(学術部会長)

### 【産業動物部門委員】

明石 博臣 日本産業動物獣医学会副会長(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)  
上村 俊一 日本産業動物獣医学会理事(宮崎大学農学部教授)  
加茂前秀夫 日本産業動物獣医学会会長(東京農工大学大学院共生科学技術研究院教授)  
小岩 政照 北海道獣医師会理事(酪農学園大学獣医学部教授)  
酒井 淳一 日本産業動物獣医学会監事(山形県農業共済組合連合会参事)  
中尾 敏彦 日本産業動物獣医学会副会長(山口大学農学部教授)

### 【小動物部門委員】

宇根 智 大阪市獣医師会(株式会社ネオ・ベッツ)  
大橋 文人 日本小動物獣医学会会長(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)  
丸尾 幸嗣 岐阜県獣医師会理事(岐阜大学応用生物科学部教授)  
諸角 元二 埼玉県獣医師会(戸ヶ崎動物病院院長)

<以下欠席：委任状提出>

多川 政弘 東京都獣医師会(日本獣医生命科学大学獣医学物教授)  
西村 亮平 日本小動物獣医学会誌編集委員会委員(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

### 【公衆衛生部門委員】

石黒 直隆 日本獣医公衆衛生学会副会長(岐阜大学応用生物科学部教授)  
熊谷 進 日本獣医公衆衛生学会会長(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)  
三澤 尚明 日本獣医公衆衛生学会理事(宮崎大学農学部教授)  
福島 博 島根県獣医師会(島根県保健環境科学研究所保健科学部部長)  
山田 章雄 日本獣医公衆衛生学会副会長(国立感染症研究所獣医科学部部長)

<以下欠席：委任状提出>

山本 茂貴 日本獣医公衆衛生学会理事(国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長)

【本 会】 中川 秀樹(副会長) 大森 伸男(専務理事)ほか

## 議 事

- 1 副委員長の選任(協議)
- 2 委員会における検討事項(協議)

日本獣医師会獣医学術賞(獣医学術奨励賞、獣医学術功労賞)の選考・審査等

## 会議概要

開会に当たり、中川副会長から挨拶が行われた後、委員の出欠の確認が行われ、欠席委員からは各部門副委員長への委任状が提出されていることが事務局から報告された。

### 1 副委員長の選任

各部門における委員の互選により、産業動物部門は加茂前委員、小動物部門は大橋委員、公衆衛生部門は熊谷委員がそれぞれ副委員長に選任された。

### 2 委員会における検討事項

日本獣医師会獣医学術賞（獣医学術奨励賞、獣医学術功労賞）の選考・審査等事務局からの日本獣医師会獣医学術賞に関する規程の説明に続いて、獣医学術奨励賞については日本獣医師会雑誌に掲載された研究論文（原著・短報）の中から、獣医学術功労賞については推薦のあった業績の中から、それぞれ部門ごとに選考が行われた後、各部門の副委員長から審査結果と選考理由がそれぞれ以下のとおり報告された。

#### 【 産業動物部門 】

##### 〔 獣医学術奨励賞 〕

馬の喉嚢真菌症 85 例の治療成績

樋口 徹（日高地区農業共済組合家畜診療センター）、他

##### < 選考理由 >

日常遭遇する症例を、16 年間にわたる 85 例もの多くの治験をまとめ、止血処置を行なうことにより 80%以上において良好な予後が得られることを示した貴重な報告である。

##### 〔 獣医学術功労賞 〕

乳牛に多発する肢蹄疾患の治療と予防に関する研究と応用普及

大竹 修（(財)岡山県健康づくり財団・食鳥検査員）

##### < 選考理由 >

臨床獣医師として、乳牛の廃用、淘汰の首座を占める肢蹄疾患の発生要因、病態、治療および予防法を追究し、その成果を学会や誌上発表すると共に、全国の獣医師、削蹄師および酪農家に講演や研修を通じて紹介し、肢蹄疾患の防除に貢献した業績が顕著であることを評価した。

#### 【 小動物部門 】

##### 〔 獣医学術奨励賞 〕

新WHO分類による犬・猫の悪性リンパ腫の組織学的診断

坂井祐介（東京大学大学院農学生命科学研究科）、他

##### < 選考理由 >

本論文は、新たに設定されたWHO分類に基づいて悪性リンパ腫を分類し、また、免疫学的性状および発生部位を解析した論文であり、そのまとめ方は、犬では 57 例、猫では 26 例と比較的多くの例数を基本データとした論理的な研究成果であり、

小動物の当該疾患の診断および治療を行う上で大変に有用な成績であることから優秀な論文であると評価した。

〔 獣医学術功労賞 〕

小動物の血液病学に関する研究ならびに臨床獣医学の発展への貢献

前出吉光（北海道大学・名誉教授）

< 選考理由 >

小動物の血液病に関する様々な疾患について多数の研究業績を持ち、研究内容を日本小動物獣医学会で講演して小動物臨床に応用普及を図り、小動物獣医学の発展に大きく貢献したことを高く評価するとともに、日本小動物獣医学会の副会長として学会運営に多大な尽力を行ったことが評価された。

【 公衆衛生部門 】

〔 獣医学術奨励賞 〕

と畜場に搬入された豚から検出された *Streptococcus suis* の疫学的検討

土屋祐司（浜松市食肉衛生検査所）他

< 選考理由 >

本研究は、近年、ヒトに重篤な疾病を招来することが明らかにされた *Streptococcus suis* について、と畜場に搬入された豚を対象として行った疫学調査研究である。多数の菌株について最新の遺伝子解析手法を用い解析を行うことにより、と畜場に搬入された健常豚が高頻度に感染している実態を明らかにした点が高く評価され、獣医学術奨励賞に値するものと考えらる。

〔 獣医学術功労賞 〕

と畜場及び食鳥処理場における微生物制御並びに食中毒細菌の制御に関する研究

品川邦汎（岩手大学・名誉教授）

< 選考理由 >

ウエルシュ菌エンテロトキシンおよびその他食中毒細菌の検出法の研究において優れた業績をあげ、さらに食品の生産や調理等における病原細菌の制御において多大な功績を残すなど、獣医公衆衛生分野への貢献が極めて大である。また、日本獣医公衆衛生学会の会長等を務め、本学会の発展にも尽くしたことを評価した。

### 3 ま と め

第1回委員会は酒井委員長により以下のとおりとりまとめられた。

- 1 第2回委員会は平成22年1月30日(土)平成21年度日本獣医師会学会年次大会(宮崎)の会場であるワールドコンベンションセンターサミットにおいて開催すること。
- 2 平成21年度日本獣医師会獣医学術賞の表彰は、平成21年度日本獣医師会学会年次大会(宮崎)の場において行うこと。